桜島過去の大噴火の概要

● 「文明大噴火」　1471年～1476年（文明 3年～文明 8年）
1471年11月（文明3年）に黒神方面に溶岩流出，噴石，降灰，死者多数。
1473年（文明 5年）噴火。
1475年 9月（文明7年）降灰砂，野尻方面に溶岩流出。
1476年10月（文明8年）島の南西側に多量の溶岩流出。
噴石，降灰砂のため埋没家屋多数，人畜多数死亡。

● 「安永大噴火」　1779年11月 8日（安永 8年）
数日前から地震頻発，当日朝から海岸の井戸沸騰流出，海水紫に変色。
11時頃から南岳山頂火口から白煙，14時頃南岳南側中腹から黒煙をあげ爆発，16時頃さらに北東側中腹からも噴火。
翌日早朝から噴石，つづいて溶岩を流出。死者150余名。
この噴火に伴う安永 8年～安永9年の海底噴火または隆起により桜島北東海中に9島の小島生成，その後消滅または接合して5島が残る。

● 「大正大噴火」　1914年 1月12日（大正 3年）
1月10日から地震，11日には有感地震も含め頻発
12日8時半頃，脇，有村など島の南海岸から熱湯噴出，10時頃西側中腹（標高約350m）から噴火。約10分後には南東側中腹（標高約400m）からも噴火。
黒煙・火山雷・空振など22時から翌13日01時にかけ特に顕著。
13日20時頃から溶岩流出開始。西方の溶岩は横山村に達し約2週間後弱まる。
南東方の溶岩は脇，有村，瀬戸を埋没し，1月29日に瀬戸海峡を閉塞。
この噴火は強震を伴い，特に12日には有村及び鹿児島市で被害。
地震，噴火による被害は村落埋没，全壊家屋120棟，死者58名，負傷者112名，農作物大被害等。
降灰は仙台に達する。
噴出物総量 $2.1\times10^{9}m^{3}$（溶岩流出量$1.56\times10^{9}m^{3}$，降下軽石及び火山灰$0.62\times10^{9}m^{3}$）。
噴火に伴う地盤変動大。

垂水市域（当時の行政区分　肝属郡牛根村、垂水村、新城村）
　1月12日　牛根村　人頭大からこぶし大の噴石
　13日以降　火山灰が降下
　15日、16日　降灰のピーク
　2月上旬まで降灰が続いた
　　軽石は海面で浮上層60センチ以上
垂水市域の降下火砕物堆積厚
：牛根村、降下火砕物で小学校と村役場の建物が倒壊
：東桜島、牛根村民は、高隈方面へ避難

村名	堆積厚
垂水	3～30 cm
牛根	18～105 cm

● 「昭和大噴火」1946年 1月～11月（昭和21年）
1月から鹿児島市までときどき降灰，3月にはほとんど毎日となる。
3月 9日22時頃から南岳東斜面（標高800m）から溶岩を流し始め，東北と南に分流し，4月 5日に黒神海岸に，5月21日に有村海岸に達した。
山林焼失，農作物に大被害，死者 1名。
6月には次第に噴火は衰えたが11月頃までときどき降灰。
噴出物総量 8.3×10^{7} m^{3}。

【気象庁　桜島　火山活動の記録抜粋】

噴火警戒レベルと住民の行動

● 噴火警戒レベルとは、噴火時などに危険な範囲や必要な防災対応をレベル1から5の5段階に区分したものです。

レベル	火山活動の状況	対応および住民の行動
5 避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	避難勧告・避難指示 危険な居住地域からの避難等が必要。
4 避難準備	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まっている）。	避難準備情報 警戒が必要な居住地域での避難の準備、災害時要援護者の避難等が必要。
3 入山規制	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	注意喚起 住民は通常の生活。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等。 登山禁止や入山規制等危険な地域への立入規制等。
2 火口周辺規制	火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。 火口周辺への立入規制等。
1 平常	火山活動は静穏。 火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。	状況に応じて火口内への立入規制等。

前兆現象

1　顕著な地形の変化
　山、がけ等の崩壊、地割れ、土地の隆起、沈降等
2　噴気、噴煙の異常
　噴気口、火口の拡大、位置の移動、あるいは新規発生等
　噴気、噴煙の量の増減あるいは色、臭気、温度等の異常
3　湧水（湧き水、温度）の異常変化
　湧泉の新生、既存湧泉の枯渇及び湧泉量、臭気、濁度の異常等
4　顕著な地温の上昇
　地熱地帯の新規発生、拡大及び位置の移動及びそれに伴う草木の立枯れ等
5　付近の海や河川の異常
　海、河川の水量、濁度、臭気、温度の異常及び軽石、死魚の浮上又は泡の発生
6　有感地震の発生及び群発
7　鳴動の発生

前兆現象を発見したら、連絡をお願いします。

連絡先

● 市関係機関
　市役所　総務課　℡ 0994-32-1097
　牛根支所　0994-36-2001

● 消防関係
　市消防本部　℡ 0994-32-1019
　牛根分遣所　0994-36-3119

● 警察関係
　垂水幹部派出所　℡ 0994-32-0110
　牛根駐在所　℡ 0994-36-2025

避難指示等の伝達

● 防災行政無線・消防車両・テレビ・ラジオ等でお知らせします。

避難準備情報

● 避難の準備、非常持出品の確認、家族の確認、避難先の確認
● 災害時要援護者は早めの避難

避難勧告・避難指示

● 戸締り、火の始末
● 避難所へ避難

避難集結地

地　区　名	避難集結地
下園・松元	協和中学校前
温泉場	協和公民館前
飛岡・西和田・東和田	なぎさ荘前
崎山・恵比須・大浜・源園	源園バス停
岡・迫田	岡バス停
脇登	脇登避難壕
小浜	小浜避難壕
牛根養魚場・冷蔵庫団地	前崎避難壕
宮崎小路・中小路・東小路	居世神避難壕

立入・避難規制の種類

● 自主避難　火山活動が活発化した場合できるだけ早めに避難しましょう。
● 避難勧告 避難指示　原則として市長から出されます。生命、身体を保護するために必要と認める地域に立ちのきを求めるものです。急を要する場合には、避難指示が出されます。
● 警戒区域　原則として市長が設定します。災害応急対策に従事する者を除いて、立入を制限または禁止します。

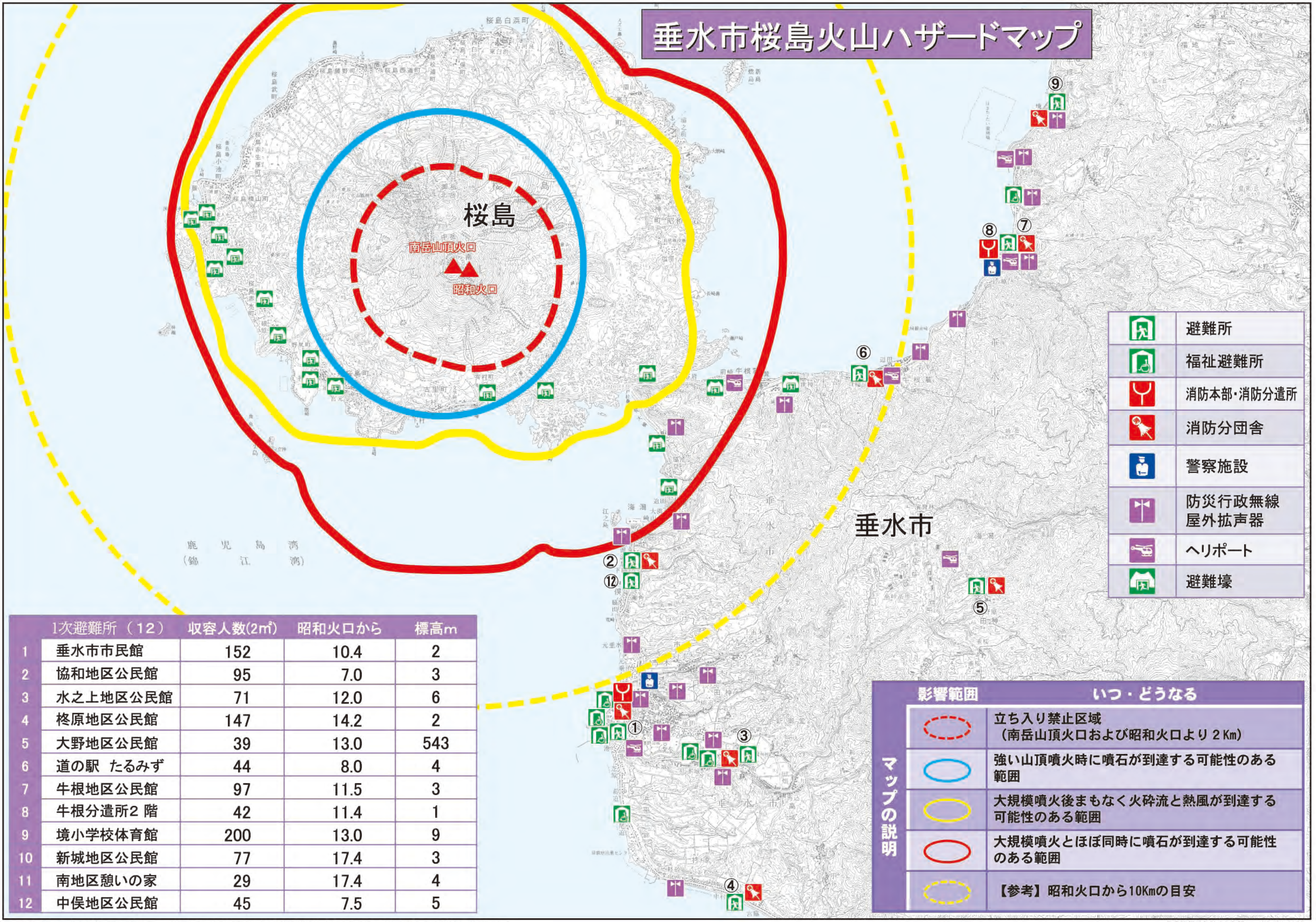
避難時の心構え

● デマやうわさにまどわされないよう市、消防、警察及びテレビ、ラジオを通じて伝えられる公的機関からの情報を入手しましょう
● 市から避難指示等が発せられた時には、避難を優先させましょう。
● 周囲の人たちと協力しあい、あわてずに行動しましょう。

日ごろの準備

このマップに関するお問い合わせ先
垂水市総務課　0994－32－1097

垂水市桜島火山ハザードマップ



	1次避難所（12）	収容人数(2㎡)	昭和火口から	標高m
1	垂水市市民館	152	10.4	2
2	協和地区公民館	95	7.0	3
3	水之上地区公民館	71	12.0	6
4	柊原地区公民館	147	14.2	2
5	大野地区公民館	39	13.0	543
6	道の駅　たるみず	44	8.0	4
7	牛根地区公民館	97	11.5	3
8	牛根分遣所2 階	42	11.4	1
9	境小学校体育館	200	13.0	9
10	新城地区公民館	77	17.4	3
11	南地区憩いの家	29	17.4	4
12	中俣地区公民館	45	7.5	5

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)を複製したものである。（承認番号　平23 情複、第805号）」

久永情報マネジメント㈱　099-225-1500